



TITLE:

戦後ノ經濟戰ニ對スル準備

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

---

CITATION:

神戸, 正雄. 戦後ノ經濟戰ニ對スル準備. 經濟論叢 1916, 3(6): 879-882

ISSUE DATE:

1916-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127128>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科大學

# 經濟論叢

第六號

第三卷

大正五年十二月一日發行

## 論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(一)

戸田 海市

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(二、完)

神戸 正雄

參觀交代制度ノ經濟觀(一)

本庄 榮治郎

『座』ノ研究(一)

三浦 周行

代表紙幣ト獨立紙幣(三、完)

作田 莊一

## 雜錄

公營造物ニ關スル美濃部、磯田、松本三博士ノ  
所論ヲ讀ミテ東京市電車賃率問題ニ及ブ(三、完)

福田 德三

戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戸 正雄

簡易保險更張ノ一方面

財部 靜治

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(一)

山本 美越乃

人口ト勞銀ノ趨勢

高田 保馬

經濟雜話(一)

田島 錦治

經濟漫錄(一)

瀧本 誠一

金井法學博士在職二十五年祝宴記事

田島 錦治

社會政策學會第十回大會記事

河上 正

京都法學會大會記事

瀧上 正雄

## 戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戸 正雄

現戰爭ハ日本ニ倖シテ日本ヲ益々債務國ノ域ヨリ脱セシメ、日本ノ産業ノ發達ノ基礎ヲ鞏固ナラシメタ。日本ノ戰後ノ經濟戰ニ於ケル競争力ハ確ニ一層大ナルモノトナツタ。併シ日本モ油斷ヲ許サヌ。現ニ中立國タル米國すかんぢなびあ諸國ノ如キハ齊シク此戰爭ニヨリテ其力ヲ増大シタノミナラズ、特ニ米國ノ如キハ日本ニ二十倍スルノ利得ヲ舉ゲ、戰後ノ經濟戰ニ對シ十二分ノ準備ヲ整ヘツ、アル所デアリ、其モ餘レル力ヲ以テ政治上ニモ壓迫ヲ加エツ、アル所ユヘ、日本ハ決シテ此小成ニ安ンズル如キ事ガアツテハナラヌ。歐洲ノ交戰國ニ至リテハ此戰爭ノ爲メニ、戰後、租稅ガ二倍三倍トモナルニ於テ、人的ノ力ヲ失ヒ、資本増殖力ヲ減スルニ於テ、到底日本等ニ對シテ競争スル能ハザルコトトナルノデハアルマイカ。トモ考エラル、ガ、實際ニハ彼等ニ在ツテモ今ヨリ戰後ノ準備

怠リナキ有様デアツテ、彼等ノ競争力モ亦決シテ輕視スルヲ許サザル所デアル。試ミ最近予ノ眼ニ觸レタル二三ノ英國雜誌カラ這般ノ消息ヲ傳エヤウ。

(一) 一部ノ議論ニ依ルト、販路ト原料利用トノ點ニ於テ、若モ戰後、聯合軍側諸國(日英佛露伊白葡せるびあ、もんでねぐろ、るめにあ)ガ結束シテ、同盟國側(獨逸匈土ぶるがりあ)ト經濟戰ヲ爲スナラバ、即チ聯合軍側ノ國內ニ在ル凡ヘテノ原料ハ成ルヘク之ヲ聯合軍側諸國ニ於テ利用シテ、同盟國側ニ利用セシメズ、<sup>(註)</sup>且ツ聯合軍側ノ國ノ版圖ハ之ヲ成ルヘク聯合軍側ノ國ノ產物ノ販路ト爲シ同盟國側ノ產物ニ對シテハ全ク之ヲ閉鎖スルコトスルナラバ(勿論之ト同時ニ聯合軍側ノ國ノ產物モ同盟國側ヨリ排斥セラルルコトヲ覺悟シテ)<sup>(註)</sup>戰前互ニ自由ニ(勿論多少關稅ノ制限ハアリ)ニ交易ヲ爲シタル時ニ比シテ、決シテ聯合軍側ノ國ニ取リテ一層不利トハナラス。ムシロ一層有利トナル。反對ニ同盟軍側諸國ガ非常ニ困マルコトトナルデ

アラウ。此基礎ノ下ニ聯合軍側ノ諸國ハ益々經濟力ヲ伸ハスコトヲ得テ、經濟上ヨリシテ同盟國側ヲ屏息セシムルヲ得ルデアラウトイフノデアル<sup>(註)</sup>。

(註) 英國ノ重ナル殖民地(印度、加泰陀、英領西印度、澳洲、にゅーじーらんど、埃及、英領東あふりか、西あふりか、南あふりか)ヨリ獨逸へ輸入シタノハ、主トシテ天產物特ニ原料品デアルガ、此ガ一九二二年ノ輸入金額ハ六三、三三〇、〇〇〇、磅

ニ上ツテ居ル。今後此ヲ英國又ハ聯合國側ノミガ利用スルコトヲ得テ、獨逸側ガ利用スルヲ得ザルコトナレバ、獨逸ハ非常ナル打撃ヲ受ケルト共ニ、英國側ハ非常ニ利益スルコトナルデアラウ。

(註) 一九二二年(るめにあノミハ一九二二年)ノ貿易統計ニ依ルト

(a) 同盟國側カラ聯合國側ニ輸入サレタル貨物ノ金額 二七五、四九六、三〇〇、磅

(b) 聯合國側カラ同盟國側ニ輸出サレタル貨物ノ金額 二二一、八五八、三六〇、磅

差引 四三、六三七、九四〇、磅  
 ダケ聯合國ガ買越ニナツテ居ルカラ、聯合國對同盟國ノ經濟戰トナレバ、聯合國ハ却ツテ四三、六三七、九四〇、磅トイフ新販路ヲ互ノ間ニ見出スノ結果トナツテ、有利也トイ

アゴトトナル。

更ラニ之ヲ各本國及屬領地ノ人口ヨリイフモ、

(a) 聯合國側 八三〇、〇五四、〇〇〇

(b) 同盟國側 一五六、七五七、〇〇〇

差數 六七三、二九七、〇〇〇

右ニヨツテ、聯合國側ノ非常ニ優勢ナルヲ見ルコトが出来

ル。此大ナル消費ヲ利用スルヲ得ルニ於テ、經濟上ノ發

達ハ同盟國側ヨリモ一層有利デアラウ。特ニ戰爭ニシテ都

合好ヲ行ケバ、同盟國ノ屬領地人口一一、九一四、〇〇〇ヲ

モ聯合國ニ取去リ來ルコトが出来ルニ於テ尙更有利デアラ

ウ。勿論此外ニ、

(c) 中立國民ガ 六一三、一八九、〇〇〇

アル。戰後、同盟國聯合國ガ如何ニ之ヲ利用セントスルヤ

ハ明デナイガ、之ガ一分ハ聯合國モ利用スルヲ得ルデアラ

ウ。之ヲ半分ツツ利用スルシテモ、勿論聯合國側ハ優勢

ヲ失ハヌ。假リニ全部同盟國ガ之ヲ取ツタトシテモ、尙ホ

且ツ聯合國ニ及ブコトヲ得ヌ。況ヤ斯カルコトノ殆ト事實

上アリ得ヘカラザルコトナルニ於テハ尙更デアアル。

(二) 更ニ他ノ人々ノ考ニ依ルト、戰後重稅ノ刺

戟ニヨツテ國民ノ間ニ發明ガ續出シ(註三)、工業組

織ノ改造モ行ハレ換言スレバ工業ノ米國化即チ

最良ノ勞働節用機械ヲ採用スルコトニヨツテモ

生産ノ效果ヲ今日ヨリモ二三倍スルコトヲ得テ

雜誌 戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

(註四) 夫ノ重稅ヲ排消シ、勞力ノ不足ヲ補ヒ、更ニ資本ノ増殖ヲモ促スデアラウ。

(註三) 夫ノ一世紀前ニハ、英國ハ佛蘭西トノ大戰爭ニヨリテ

生シタル租稅ノ重負、工業ニ於ケル蒸汽機械ノ應用、

近世運送方便ノ採用、銀行制度ノ改造等ニヨツテ排消シタ

此度モ之ヲ盛ニ行ヘバ莫イトイフ。――加之現下、戰時中

ニ、夫ノ對敵禁止令ニヨリ、獨逸人ノ英佛國內ニ持テタル

化學工業會社ノ分工場ヲ差押ヘテ之ヲ英佛ノ管理ニ移シ、

其内部ニ就イテ經過ヲ研究セル結果、從來未知ナリシ諸多

ノ方法モ大抵明カニセラルルコトヲ得テ、化學工業品モ將

來ハ英佛ニテ優ニ自給シ得ルノ見込アリトイフコトデア

ル。

(註四) 從來ノ英國民ガ工業組織ニ於テ比較的遅レタノハ、彼

國民ガ平和ニ慣レ惰眠ヲ食ツタカラデアアル。茲ニ彼等ガ覺

醒シテ米國式ヲ採用シテ進ムコトトナレバ、彼ノ生産多數

層倍タルコトヲ得ルデアラウ。此事ハ左表ニヨツテ明テ

アル。

勞働者一人當リ年産金額(賃金ニ非ズ。生産總價ヲ勞働者

數ニテ除シタルモノ)

英國 米國 米國ハ英國ノ

靴 一七一磅 五一六磅 即三倍強

衣服 一五八磅 四八四磅 即三倍強

道具 一六四磅 三二三磅 即二倍強

(三) 加之右ノ外運送方便、銀行制度、商業技術

第三卷 (第六號 八八二) 一〇一

等ニ於テモ改善ヲ計ツタナラバ、一層競争力ヲ強大ナラシムルコトヲ得ルデアラウトイフノデアル。

デ歐ノ交戰國スラ斯克戰後ノ準備ニツキ注意怠リナキ所デアルカラ、日本モ増加スル正貨ニ持アグミ、之ヲ外債ノ償還ニ充ツルコトヤ外國證券ヘ放下スルコトニノミ汲々トシナイデ、内地及我勢力範圍ニ屬スル海外地域ニ生産の基礎ヲ置クコトノ爲メニ用キテ、一方ニハ益々發明改良ヲ獎勵シ、工業組織ヲ完備シ、他方、運輸金融、保險、商業組織ヲ改善シ充實スルコトヲ計ラナケレバナラス。若夫レ工業ノ發展ノ爲メニハ原料ノ豐富ト販路ノ洪大トヲ前提トスル所デアルカラ、速カニ夫ノ聯合國側ノ巴里決議ヲ捉ヘテ之ニ賛意ヲ表シ、此等ノモノニ關スル基礎ヲ除キ、戰後益々工業ニ於テ發展シ得ルノ基礎ヲ作ラナケレバナラス。然ルニ今日既ニ聯合國側ノ諸國特ニ英國ガ日本ノ發達上重要ナル原料又ハ半製材料ノ輸出ヲ禁止又ハ制限シ、日本ニ適當シ且ツ將來益々有望ナル工業品ノ輸入ヲ

禁制シテ居ル。又ハ將來之ヲ爲サントシテ居ル例之、英國ハ既ニ鐵材ノ輸出ヲ禁止シ、濠洲ノ亞鉛ニツイテモ自國ト佛白トニテ處置ヲ定メテ日本ヲ度外ニ置カウトシタリ、印度ノ綿花ニ輸出稅ヲ課スルノ案モアル。或ハ刷子、玩具ノ如キハ夙ニ輸入禁止トナツテ居ルガ、今又新ニ莫大小ヲ加フルコトトナツタ。英國ガ同盟國ノ間拮据アルノニ酷イ仕打ヲスルトイフテ日本人ハ怒ルデアラウガ、併シ英國ニ曰ハセタラ、日本ガ聯合國ニ加擔シツツ巴里決議ニ對シテ不誠意ナルコトニツキテ怨ミ且ツ疑ヲ挾マザルヲ得ヌトイフデアラウ。日本モ速カニ此方ニテ誠意ヲ表シ、其發達ノ爲メ缺クベカラザル原料ノ充實ヲ計リ、且ツ夫ノ大販路ヲ確保スルコトヲ意ツテハナラス、戰後ノ計ハ今日ニ在ル。

3) Preparedness for international commerce. A lecture delivered by Clausen, (Bankers Magazine, London, Oct., 1916.)